

事業所名

こどもひろばポーポーの木かいた

支援プログラム

作成日

6年

4月

15日

法人（事業所）理念		①自分に自信がもてるようになる ②他者とのつながりを大切にする ③非認知能力を身につける ④好きな事を得意な事に変える									
支援方針		様々な障害特性を理解し、一人一人の特性に応じた支援を行う。 色々な活動を楽しみながら取り組み、成功体験を積みながら個々の成長、スキルアップにつながる支援を行う。									
営業時間		平日	10時	00分	から	19時	00分	送迎実施の有無	あり	なし	自宅又は学校へ送迎
		土日、祝日 長期休暇	9	00分	から	18	00分				
支 援 内 容											
本人 支 援	健康・生活	規則正しい生活（健康状態の維持、改善、生活習慣、生活リズムの形成、環境整備 等）を身に付け、また維持していくためにも身の回りのことを中心に色々な役割を提供し、できることを増やしていくことで一人一人の自立に向けた支援を行う。色々な経験をもとに楽しく過ごせることや自分に自信を持つことを実感することで、日々の生活への意識を深める。									
	運動・感覚	基礎体力や運動能力の向上、丈夫な体づくり、運動することでストレスの解消、色々な遊びを通じて様々な感覚を養う。 活動を通じて、身体を大きく使う動作や手先を使う細かい動作等、楽しく取り組みながら成功体験を重ねることで基本的な身体の動かし方を身に付ける。									
	認知・行動	物の形や色、音の変化、大きさ、数、空間、時間等の情報、また5感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）や環境から必要な情報を整理し、一連の行動につなげていく力を養う。 感覚や認知の偏りを軽減し、その他行動障害を予防もかねて、適切な行動を行うことができるよう支援を行う。									
	言語 コミュニケーション	多くの言葉に触れることで言葉の理解力や語彙力、語想起を養う。言葉や表情、身振り等、様々なコミュニケーション方法を身に付け、自分の思いが伝わる経験を積む。 その中で会話のルールやマナーを学び、円滑なコミュニケーションができるよう支援を行う。									
	人間関係 社会性	色々な活動や遊びを通じて、集団生活、集団行動への意識を深める。 その中で他者との関わり方、状況把握、気持ちのコントロール等、様々なルールを学び実践することで社会性や協調性を養う。									
家族支援		家庭や学校での様子の把握や、支援方法等の情報・目標の進捗状況を共有し、保護者と従業員が統一した支援を行えるよう、自宅や事業所などで、対面またはオンラインで相談援助などを行い、目標に対する達成度など共有する。				移行支援		多様な学習や体験を通じて、自己成長と新たなスキルの習得を促進する。 また進級、進学、卒業等について相談支援員や学校、保護者との情報共有を図り、スムーズに行動移行できるように準備を行う。			
地域支援・地域連携		定期的な担当者会議を通じて、関係者間の連携を強化し、子どもに対する支援計画の見直しや改善を継続的に行う。				職員の質の向上		・事業所自己評価表にて職員間やご家族の方の意見、要望を伺い、業務改善を行う。 ・統一した支援を提供することで定期的に研修を行う。			
主な行事等		買い物学習、外出活動（公園、買い物学習、牧場、図書館など）、プール、ピクニック、クリスマス会、初詣									